

事項	<p>水稻のもみ枯細菌病及び苗立枯細菌病に対する生物農薬シュードモナスCAB-02水和剤(モミゲンキ水和剤)による防除法(種子消毒)</p>				
ねらい	<p>水稻のもみ枯細菌病及び苗立枯細菌病に対する種子消毒剤として、生物農薬であるシュードモナスCAB-02水和剤(モミゲンキ水和剤)の効果が認められたので参考に供する。</p>				
指導参考内容	<p>1 次のいずれかの方法によりモミゲンキ水和剤の200倍液に24時間浸漬処理する。</p> <p>(1) 混用処理 A剤とモミゲンキ水和剤を混用し、浸種前に処理。 (A剤を所定の濃度に調整後、モミゲンキ水和剤を200倍になるように混和)</p> <p>(2) 体系処理 A剤またはB剤(混用できない剤)を浸種前に処理し、その後モミゲンキ水和剤を浸種最終日または催芽時(循環式催芽機使用)に処理。</p> <table border="1" data-bbox="359 728 1316 952"> <thead> <tr> <th>A剤(混用可)</th> <th>B剤(混用不可)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘルシード水和剤 テクリード水和剤</td> <td>ヘルシード乳剤、トリフミン乳剤、スポルタック乳剤、 トリフミン水和剤(風乾あり)、ケス水和剤(風乾あり)、 ヘルシードT水和剤、ヘルシードTフロアブル</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 薬剤名等</p> <p>(1) 一般名：シュードモナスCAB-02水和剤</p> <p>(2) 商品名：モミゲンキ水和剤</p> <p>(3) 有効成分：シュードモナスCAB-02 1×10^{10}cfu/g</p> <p>(4) 人畜毒性：普通物</p> <p>(5) 魚毒性：-</p> <p>3 安全(適正)使用基準</p> <p>(1) 適用病害：苗立枯細菌病、もみ枯細菌病</p> <p>(2) 希釈倍数：200~500倍</p> <p>(3) 使用方法：24時間種子浸漬</p> <p>(4) 使用時期：浸種前~催芽時</p> <p>(5) 使用回数：2回</p>	A剤(混用可)	B剤(混用不可)	ヘルシード水和剤 テクリード水和剤	ヘルシード乳剤、トリフミン乳剤、スポルタック乳剤、 トリフミン水和剤(風乾あり)、ケス水和剤(風乾あり)、 ヘルシードT水和剤、ヘルシードTフロアブル
A剤(混用可)	B剤(混用不可)				
ヘルシード水和剤 テクリード水和剤	ヘルシード乳剤、トリフミン乳剤、スポルタック乳剤、 トリフミン水和剤(風乾あり)、ケス水和剤(風乾あり)、 ヘルシードT水和剤、ヘルシードTフロアブル				
期待される効果	<p>生物農薬である本剤を使用することにより、環境負荷の少ない防除法が可能となる。また、減農薬・無農薬防除体系時でも、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病に対する防除が可能となる。</p>				
利用上の注意事項	<p>1 使用上の留意事項を遵守する。</p> <p>2 本剤処理後の風乾は行わない。</p> <p>3 浸種前処理では、チウラム、オキシリニック酸、銅を含む剤及び乳剤型の薬剤と混用しない。</p> <p>4 開封前の保存は冷蔵とし、開封後は使い切りとする。</p>				
担当	<p>青森県農業試験場 病害虫防除室 対象地域 県下全域</p>				
発表文献等	<p>平成14年度 青森県農業試験場試験成績概要集</p>				

【根拠となった主要な試験結果】

表1 苗立枯細菌病に対するモミゲンキ水和剤の防除効果(試験1) (平成14年 青森農試)

区の構成(処理時期)			発病苗率(%)				発病度	防除価	薬害
浸種前処理(4/7)	催芽前処理	催芽時処理	枯死	重症	軽症	合計			
ヘルシード+モミゲンキ	—	—	0 c	0.2 b	0.3 b	0.6 b	0.3 b	98	—
ヘルシード+モミゲンキ	—	水切催芽	0.1 bc	0.7 b	0.8 b	1.6 b	0.8 b	92	—
ヘルシード水和剤	モミゲンキ	—	0.3 bc	0.3 b	0.8 b	1.4 b	0.8 b	93	—
ヘルシード水和剤	モミゲンキ	水切催芽	0.4 abc	0.7 b	1.1 b	2.2 b	1.3 b	89	—
ヘルシード水和剤	—	モミゲンキ	0.1 bc	0.1 b	0.1 b	0.3 b	0.2 b	98	—
—	—	モミゲンキ	0.2 bc	0.3 b	0.6 b	1.1 b	0.6 b	95	—
テクリードCフロアブル	—	モミゲンキ	0.1 bc	0.1 b	0.1 b	0.3 b	0.2 b	96	—
テクリードCフロアブル	—	—	0.9 ab	0.8 b	0.6 b	2.2 b	1.6 b	87	—
無処理	—	—	2.0 a	9.6 a	11.6 a	23.1 a	12.2 a		
F-検定			***	***	***	***	***		

(注) 1 健全種子に接種種子10%量を混和したものを供試、全供試薬剤とも200倍液24時間浸漬

2 ヘルシード+モミゲンキ区は混用処理、テクリードCフロアブルは処理後24時間風乾

3 4/21は種 5/14(は種22日後)に各300本調査

4 発病度=(枯死苗率×3+重症苗率×2+軽症苗率×1)÷3

表2 苗立枯細菌病に対するモミゲンキ水和剤の防除効果(試験2) (平成14年 青森農試)

区の構成(処理時期)		発病苗率(%)				発病度	防除価	薬害
浸種前処理(4/23)	催芽前処理	枯死	重症	軽症	合計			
モミゲンキ水和剤	—	0.1 b	3.4 b	4.8 b	8.3 b	4.0 b	88	—
—	モミゲンキ水和剤	0.3 b	0.8 c	1.9 bc	3.0 c	1.5 b	96	—
テクリードCフロアブル	—	0.2 b	5.4 b	5.2 b	10.8 b	5.5 b	84	—
スターナ水和剤	—	0 b	0.6 c	0.7 c	1.2 c	0.6 b	98	—
無処理	—	16.5 a	18.4 a	16.5 a	51.4 a	34.2 a		
F-検定		***	***	***	***	***		

(注) 5/5は種 5/29(は種23日後)に各300本調査 他は表1と同じ

表3 もみ枯細菌病に対するモミゲンキ水和剤の防除効果 (平成14年 青森農試)

区の構成(処理時期)		発病苗率(%)				発病度	防除価	薬害
浸種前処理(4/23)	催芽前処理	枯死	重症	軽症	合計			
モミゲンキ水和剤	—	0	0 b	0.11 b	0.11 b	0.04 b	99	—
—	モミゲンキ水和剤	0.08	0.17 b	0 b	0.25 b	0.20 b	80	—
テクリードCフロアブル	—	0	0 b	0 b	0 b	0 b	100	—
スターナ水和剤	—	0.44	0.22 b	0.11 b	0.78 ab	0.63 ab	53	—
無処理	—	1.0	1.11 a	0.78 a	2.89 ab	2.00 a		
F-検定		ns	**	**	**	*		

(注) 5/5は種 5/29(は種23日後)に各300本調査 他は表1と同じ

(参考価格) 1袋100g 約940円、100g×35箱/10aの種子を浴比1:1使用で約300円/10a